

図書館だより

休館日…毎週月曜日、
3日(木)、22日(火)



◆変更はありませんか？

図書館カードの登録内容（氏名・住所・電話番号など）に変更が生じた場合は、申し出てください。

◆図書館カードを作りませんか？

小学校入学のお子さんをお持ちの保護者のみなさん、入学前にお子さんの名前で図書館登録しませんか。児童書はいつでも貸し出しの冊数制限はありませんので、読み聞かせなどに図書館の本を有効活用してください。初めての登録は無料です（再発行は実費、登録は0歳から可能）。



◆3月の「おはなし会」開催日 (八日市場図書館)

5・12・19・26(土) 15時から約30分間
※4月から「おはなし会」の開催時間が14時からになります。

アドレス <http://www.library.sosa.chiba.jp>

問 八日市場図書館 73-3746 (17時まで)

市政の窓

No.11



2月26日から私の匝瑳市長2年目が始まりました。昨年の今ごろに思いを馳せてみますと、市長就任

早々にチリ沖地震が発生。翌日、津波警報が発令され、防災服に身を固めたことが強く思い出されます。一通りの職務を経験させていただく中で、様々な分野にわたり市の実情を見聞きし、マニフェストをいかに推し進めるか、市政の舵取り役

春よ来い

り、薄商いの月と言われておりましたが、行政にあっての2月は、年度末事業の仕上げと新年度事業計画を作成。同時に、本市は数多くの一部事務組合（東総地区広域市町村圏事務組合、東総衛生組

月もあり、梅の花香を楽しみに一息つきたいところですが、行事は目白押しです。せめて陽気だけでも“春よ来い、早く来い”梅は咲いたか桜はまだかいな”的心境です。

匝瑳市長 太田 安規

として幾つかのゆとりが持てる心境になってきております。2月は、私の想像を超える忙しい日々でした。昨年までは、印刷業を営む中で商工業ではニッパチ（2月・8月）という言葉があ

ら、これらの定例会は、各自治体の3月定例会前にスケジュールを調整して開催される関係で、東奔西走の毎日でした。

今日は、私共夫婦の誕生月でもあり、梅の花香を楽しんで、一年過ぎて忘年会家族そろってホテル泊まりで大過なく一年過ぎて忘年会家族そろってホテル泊まりで

厚岸からの荷を解けば牡蠣ほたてほつき貝柱を吐くこと潮吹き出しぬけ。せめて陽気だけでも“春よ来い、早く来い”梅は咲いたか桜はまだかいな”的心境です。

高野 鈴木 知子
八日市場イ 椎名 昭雄
原っぱに風を揚げつつ走る子の転んで起きてまた走りゆく
木屋の香りの中を父親の胸に抱かれ孫は去りゆく
大寺 住母家みさほ

ととととと益子の徳利音のよしくさやの一枚ありてまたよしですが、行事は目白押しです。せめて陽気だけでも“春よ来い、早く来い”梅は咲いたか桜はまだかいな”的心境です。

高野 鈴木 知子
八日市場イ 椎名 昭雄
原っぱに風を揚げつつ走る子の転んで起きてまた走りゆく
木屋の香りの中を父親の胸に抱かれ孫は去りゆく
大寺 住母家みさほ

短

歌

土屋 耕一 推薦

やぶ入りの朝ひとときの初雪に負けじと如く墓所の賑はふもぐらもち土盛り上げて春はもうわが足元の畠に来てをり病む母の食事・洗濯・入浴と孫の二人あな忠実々々しいち早く春告げて咲く臘梅の花をふるはせ小雪ちらつく冬桜見ごろと聞きて籠り居しわれも小雪の中に出来つ

野手

今泉

佐藤晃子

川口 城司 推薦

野手

大木

政子

柏田

渡辺

重雄

柏田

渡辺

重雄

小川

知至

小川みさ子

白寿の故郷

匝瑳
探訪

- 58 -



竹下さんとその著書「われ生涯一教師」

手元に『われ生涯一教師 100年の志』と題した本があります。この本は、現在千葉市にお住まい102歳になる竹下定蔵さんが、教師として、その後も公民館の歴史講座の講師として60年余にわたる卒業生との交流から生まれ、教え子らにより白寿(99歳)記念として出版されたものです。

竹下さんは旧姓を小林といい、1909(明治42)年椿海村生まれ、旧制匝瑳中(現在の匝瑳高)昭和4年第1回卒業生とのことです。

里地方の被害、大利根用水事業、中学時代に「私の一生にとって、最大の試練であった」という5月から7か月に及ぶ朝3時に起きての草刈りを終えての通学、学校での軍事訓練、帰宅後の農作業の手伝いの様子などが描かれています。

「私の歴史観」の章では、九十九里浜の終点はどこか、平将門と成田山新勝寺、千葉県と東北の人々、近世農民の生活などが項目にまとめられ、さらに日蓮、道元、伊能忠敬、津田梅子など歴史上の人物についても述べられています。

昭和10年、隣村である平和村の小学校に勤務した時、村内に石井、石毛、岩井姓が多いたことを村内の古老をたずね、将門に仕えた一团がこの地方を開拓した、との興味深い言い伝えを聞き出したことも書かれています。

その後の人生で「種々さまざまな困難に直面したが、この苦勞に比べば、物の

「この過酷な草刈り作業を通して、江戸時代の農民の生活を十分に理解できました」と語り、

この本から故郷の歴史の一コマを知ることができました。

問 八日市場図書館 673・3746

数でもない」と述懐しています。「私の本来の母校は県立匝瑳高校であるが、より深く、そして強く母校に近く思えるのは女子高のような気がする」とまえがきで述べ、

「千葉高女との運命的な出会い」と本の中で紹介されています。30歳から奉職した現在の千葉女子高での戦前・戦中・戦後の教師生活がつづられています。

30歳ごろまで生まれ故郷で過ごした記憶をたどりながら、「明治・大正・昭和へ」の章がまとめられています。

大正6年の台風による椿海

小校舎や近くの寺の倒壊、同

13年の大干ばつによる九十九

里地方の被害、大利根用水事

業、中学時代に「私の一生に

とて、最大の試練であっ

た」という5月から7か月

に及ぶ朝3時に起きての草刈

りを終えての通学、学校での

軍事訓練、帰宅後の農作業の

手伝いの様子などが描かれて

います。

「私の歴史観」の章では、

九十九里浜の終点はどこか、

平将門と成田山新勝寺、千葉

県と東北の人々、近世農民の

生活などが項目にまとめられ、

さらに日蓮、道元、伊能忠敬、

津田梅子など歴史上の人物に

ついても述べられています。

昭和10年、隣村である平和

村の小学校に勤務した時、村

内に石井、石毛、岩井姓が多

いことを村内の古老をたずね、

将門に仕えた一团がこの地方

を開拓した、との興味深い言

い伝えを聞き出したことも書

かれています。

千葉市公民館で33年に及ぶ、

歴史講座の継続は長生きの

秘訣である」と語る竹下さん。

この本から故郷の歴史の一コマを知ることができました。

俳句

西野 楠雨 推薦

鳥ごゑを拾ふ補聴器日脚伸ぶ
大鯉の影のぐらりと寒明くる

八日市場イ 菅谷たけし
上谷中 八木佐久司

利根川の流れゆるやか日脚伸ぶ
春めきし物千竿の雪かな

八日市場口 高安せい子
太田三樹夫

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

八日市場イ 平山 もと
伊藤 さく

春浅し京の香りと聖菓子

大浦 江波戸廣子

利根川の流れゆるやか日脚伸ぶ
春隣老いは事なく暮れてよし

上谷中 若潮町 石毛 浩子

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

登戸 伊藤 さく

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

大浦 江波戸廣子

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

上谷中 太田三樹夫

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

登戸 伊藤 さく

春隣老いは事なく暮れてよし
大寺の甍の反りや春立てり

大浦 江波戸廣子

川柳

高梨 果宝 推薦

玄関に孫のただいま跳ね返る

八日市場木 鎌形ミツエ

三世代平穏で孫健やかに

木 積 佐久間美智子

妥協して揉め事も無く披露宴

飯塚 鈴木ツネ子

恙なく今日一日が暮れて行き

八日市場イ 関川 幸子

割烹着脱いで湯殿に寒の月

平木 静枝

信天翁三年振りに古里へ

八日市場イ 森 あつし

事無きを願つて振るう愛の鞭

八日市場イ 鈴木十世志

内臓のチエックOK酒タバコ

川口 城司 推薦

人生の思い出深い六十路

川辺 及川 利道

アキラ
アキラ
アキラ
アキラ

あて先: 匝瑳市秘書課広報広聴班

〒289-12198

匝瑳市八日市場ハ793番地2
73・0080 FAX72・1114